

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-051322  
 (43)Date of publication of application : 15.02.2002

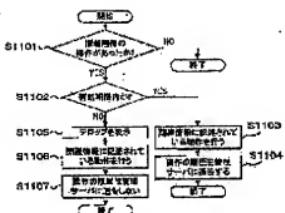
(51)Int.Cl. H04N 7/173  
 606F 12/00  
 606F 17/30  
 606T 1/00

(21)Application number : 2000-231788 (71)Applicant : SONY CORP  
 (22)Date of filing : 31.07.2000 (72)Inventor : KAWAGUCHI KUNIO

## (54) UTILIZATION SYSTEM, PROCESSING DEVICE, GENERATING DEVICE, PROVIDING DEVICE OF INFORMATION IMAGE AND PROGRAM RECORDING MEDIUM

## (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent unnecessary traffic by giving expiration date to an information image.  
 SOLUTION: This utilization system of information images is based on making an information provider (112) register an information image, into which the information image and the relevant information that leads an operator to cause a prescribed behavior, based on the information image, are formed as a unit for processing, to an information disclosing server (114) and to guide a client (120) connected via a network (130) based on the information image. According to such a constitution, giving expiration date to information image enables control of the expired information images and prevent unnecessary traffic.



## LEGAL STATUS

- [Date of request for examination]
- [Date of sending the examiner's decision of rejection]
- [Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]
- [Date of final disposal for application]
- [Patent number]
- [Date of registration]
- [Number of appeal against examiner's decision of rejection]
- [Date of requesting appeal against examiner's

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	P I	チ-ヤコード(参考)
H 04 N 7/173	6 1 0	H 04 N 7/173	6 1 0 A 5 B 0 5 0
G 06 F 12/00	5 1 5	G 06 F 12/00	5 1 5 M 5 B 0 7 5
17/30	1 7 0	17/30	1 7 0 A 5 B 0 8 2
G 06 T 1/00	2 0 0	G 06 T 1/00	2 0 0 A 5 C 0 6 4

審査請求 未請求 請求項の数18 O L (全 15 頁)

(21)出願番号 特願2000-231788(P2000-231788)

(71)出願人 000002185

(22)出願日 平成12年7月31日(2000.7.31)

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72)発明者 川口 邦雄

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ

ー株式会社内

(74)代理人 100101557

弁理士 萩原 康司

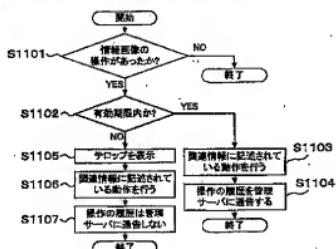
最終頁に続く

(54)【発明の名稱】 情報画像利用システム、情報画像処理装置、情報画像生成装置、情報画像提供装置およびプログラム記録媒体

(57)【要約】

【課題】 情報画像に有效期限を持たせ、無用なトラフィックの発生を回避する。

【解決手段】 情報提供者(112)に、画像情報を操作者をして該画像情報に基づいて所定の動作を引き起こす閲覧情報とをひとつつの映像及び操作とした情報画像を情報公開サーバ(114)に登録させ、前記情報画像に従ってネットワーク(130)を介して接続されたクライアント(120)を前記情報提供者の所望する情報に誘導する情報画像利用システムにおいて、情報画像に期限情報を持たせる。かかる構成により、期限切れの情報画像の動作を制限することが可能となり、無用なトラフィックを回避できる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 情報提供者に、画像情報と操作者をして該画像情報に基づいて所定の動作を引き起こす閑道情報をとひとつとの取り扱い単位とした情報画像を情報公開サーバに登録させ、前記情報画像に先づてネットワークを介して接続されたクライアントを前記情報提供者の所蔵する情報に該当する情報画像を利用システムにおいて、前記情報画像は、期限切れ情報を備えていることを特徴とする情報画像利用システム。

【請求項2】 前記期限情報は、期限切れ情報画像の操作を禁止するものであることを特徴とする、請求項1に記載の情報画像利用システム。

【請求項3】 前記期限情報は、期限切れ情報画像の操作に関する情報の前記情報画像の管理サーバに対する報告を禁止するものであることを特徴とする、請求項1に記載の情報画像利用システム。

【請求項4】 画像情報と操作者をして該画像情報をに基づいて所定の動作を引き起こす閑道情報をとひとつとの取り扱い単位とした情報画像をクライアントにおいて表示及び操作可能にする情報画像処理装置において、前記情報画像が期限情報を備えている場合には、期限切れの情報画像の操作を禁止することを特徴とする、情報画像処理装置。

【請求項5】 画像情報と操作者をして該画像情報をに基づいて所定の動作を引き起こす閑道情報をとひとつとの取り扱い単位とした情報画像をクライアントにおいて表示及び操作可能にする情報画像処理装置において、前記情報画像が期限情報を備えている場合には、期限切れの情報画像の操作に関する情報の前記情報画像の管理サーバに対する報告を禁止することを特徴とする、情報画像処理装置。

【請求項6】 画像情報と操作者をして該画像情報をに基づいて所定の動作を引き起こす閑道情報をとひとつとの取り扱い単位とした情報画像を生成する情報画像生成装置であって、前記情報画像に期限情報を組み込むことが可能なことを特徴とする、情報画像生成装置。

【請求項7】 前記期限情報は、期限切れ情報画像の操作を禁止するものであることを特徴とする、請求項6に記載の情報画像生成装置。

【請求項8】 前記期限情報は、期限切れ情報画像の操作に関する情報の前記情報画像の管理サーバに対する報告を禁止するものであることを特徴とする、請求項6に記載の情報画像生成装置。

【請求項9】 クライアントからの要求に応じて、画像情報と操作者をして該画像情報をに基づいて所定の動作を引き起こす閑道情報をとひとつとの取り扱い単位とした情報画像をクライアントに提供する情報画像提供装置であって、前記情報画像のクライアントへの提供時に、前記情報画像に期限情報を付加することを特徴とする、情報画像提供装置。

【請求項10】 前記期限情報は、期限切れ情報画像の操作を禁止するものであることを特徴とする、請求項9に記載の情報画像処理装置。

【請求項11】 前記期限情報は、期限切れ情報画像の操作に関する情報の前記情報画像の管理サーバに対する報告を禁止するものであることを特徴とする、請求項9に記載の情報画像処理装置。

【請求項12】 クライアントをして、請求項4に記載の情報画像処理装置として機能させるプログラムを保持するプログラム記録媒体。

【請求項13】 クライアントをして、請求項5に記載の情報画像処理装置として機能させるプログラムを保持するプログラム記録媒体。

【請求項14】 コンピュータをして、請求項6に記載の情報画像生成装置として機能させるプログラムを保持するプログラム記録媒体。

【請求項15】 コンピュータをして、請求項7に記載の情報画像生成装置として機能させるプログラムを保持するプログラム記録媒体。

【請求項16】 コンピュータをして、請求項8に記載の情報画像生成装置として機能させるプログラムを保持するプログラム記録媒体。

【請求項17】 コンピュータをして、請求項9に記載の情報画像処理装置として機能させるプログラムを保持するプログラム記録媒体。

【請求項18】 コンピュータをして、請求項10に記載の情報画像生成装置として機能させるプログラムを保持するプログラム記録媒体。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、インターネットなどのネットワークを介して相互接続されたコンピュータなどの情報処理装置間において行われる情報操作に関する。詳説には、本発明は、画像情報と操作者をして該画像情報をに基づいて所定の動作を引き起こす閑道情報をとひとつとの取り扱い単位とした「情報画像」を介して行われる情報画像利用システム等に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 近時、インターネットを介して接続された不特定多数の情報公開サーバから提供される情報の量は膨大なものとなっている。ユーティリティは、インターネットに接続されたサーバーやコンピュータなどの情報端末装置を操作して所蔵の情報公開サーバにアクセスし、所蔵の情報を得ることができる。このようなインターネットを介して実現される、いわゆるWWW(World Wide Web)環境において、情報提供者であるサーバーサイドにとっては、自分の提供する情報にいかに多くのユーティリティが効率的に該当するかが問題である。

【0003】 インターネット上でのユーティリティの誘導方法として、画像ファイルなどに情報公開サーバのアドレスが

閑通付けられたボタン、例えバナー広告などが知られている。ニーザは、バナー広告に刻してクリックなどの特定の操作を行うことにより、URLなどの文字列を入力するような傾向な操作なしに、簡単に所定の情報に誘導される。しかし、かかるバナー広告は、単にボタンに閑通付けられた個別の情報先にニーザを誘導できるに過ぎず、またボタンの管理も困難なことから、最近では、より効果的にニーザを誘導する方法として、画像情報と操作者をして該画像情報を基づいて所定の動作を引き起こす閑通情報をとひとつ取り扱い単位として処理する、いわゆる「情報画像」を用いる方法が提案されている(例えば、特願2000-083291)。

【0004】この情報画像は、複数の動作をひとつの画像で代表させて一括して取扱うことが可能であり、ニーザを複数の情報に巡回する、複数の情報を説いてからして管理してその群に対してニーザを誘導したりできるので、情報提供者にとっては、非常に有効なニーザ誘導手段となり得る。さらに、情報画像は、画像情報を画像ファイルとして単独で存在させるのではなく、画像情報と閑連情報をひとつの取り扱い単位として存在させるので、画像情報の管理がやすくなる。例えば、ニーザサイドでの利用状況を追跡管理することも可能である。【0005】かかる情報画像を用いることにより、情報提供者はより多くのニーザを自分の情報に誘導することが可能となる。例えば、情報提供者がある商品の販売業者である場合には、情報画像を用いて商品に関するさまざまな情報を利用して消費者であるニーザにアピールすることにより、競争業者の商品との差別化を図り、商品の販売実績を有利に進めることができとなる。さらに、上記のような画像情報の利用状況の追跡管理を併用すれば、情報提供者にとって、顧客の動向を反映する貴重なマーケティング情報を得ることも可能となる。

【0006】このように情報画像は、高い経済的付加価値を有するものである。情報提供者にとっては、例え有料であっても情報画像を利用して、ニーザを所望する情報を誘導して、自己的のビジネスを有利に展開していくといったニーザが存在する。

#### 【0007】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、情報提供者が情報画像を介して提供する情報の内容は、適宜変更されるものである。したがって、情報画像に付帯する閑連情報を基づく操作をいつまでも許可しておくと、情報提供者が意図しない情報にニーザを誘導してしまうおそれがあり問題であった。

【0008】また、システムによっては、クライアント側において情報画像が操作された場合に、その操作ログを管理サーバ側において管理する場合がある。しかし、すでに管理になくなった情報画像に関する操作ログまでもが管理サーバに通知されたものでは、無用なトラフィックが生じ、システムに過度の負担をかけるおそれがあ

り問題であった。

【0009】本発明は、情報画像を利用する環境が有する上記課題に鑑みて成されたものであり、情報画像に初期情報を持たせることにより、ニーザを不必要な情報に誘導したり、無用なトラフィックを生じさせたりすることのない新規かつ改良された情報画像利用システム等を提供することを目的としている。

#### 【0010】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するためには、本発明の第1の観点によれば、情報提供者に、画像情報と操作者をして該画像情報を基づいて所定の動作を引き起こす閑連情報をひとつの取り扱い単位とした情報画像を情報公開サーバに登録させ、前記情報画像に從ってネットワークを介して接続されたクライアントを前記情報提供者の閑連する情報を誘導する情報画像利用システムにおいて、前記情報画像は、初期情報を備えていることを特徴とする情報画像利用システムが提供される。

【0011】かかる構成によれば、情報提供者が意図した期限を越えた情報画像の操作を制限し抑制することが可能である。例えば期限情報を期限切れ情報画像の操作を禁止するものとして構成すれば、情報提供者側の意図に反してニーザを誘導するような事態を回避できる。また例えば期限情報を期限切れ情報画像の操作に関する情報の前記情報画像の管理サーバに対する報告を禁止するものとして構成すれば、無用なトラフィックの発生を回避できる。

【0012】ここで、「情報提供者」は、所轄の情報にニーザを誘導するよう情報画像を生成し、ネットワークその他の手段を介して情報公開サーバに刻してその情報画像を登録することが可能なコンピュータなどの情報端末である。例えば、インターネットを介して商品に関する情報を提供して、その商品を販売しようとする商品販売業者が所有する情報端末などが相当する。

【0013】「閑連情報」は、例えファイル名や内部に埋め込んだ能動情報などの画像特定情報を基づいて特定可能にされたものであって、クライアントである情報表示装置に画像として表示されるよう作用するものである。

【0014】「情報画像」は、画像情報と操作者をして該画像情報を基づいて所定の動作を引き起こす閑連情報をひとつの取り扱い単位としたもので、ネットワーク上での伝送等の作業が單一の取り扱い処理で実現できるようになっているものである。なお、「操作者」は、端末上で画像情報を操作する者であり、情報画像処理手段を使用する経営ニーザ本人であっても、また他人であっても構わない。また、「所定の動作」には端末において実現可能なあらゆる情報処理が含まれ。例えば端末を複数の情報を巡回的に誘導したり、一つの群として管理されている情報に対して端末を並列的に誘導したりする動

作も含まれる。そして「開通情報」には、これら動作のプログラム的に記述されて、該情報画像を提供した情報提供者に関する情報や、後発的に付加可能な該情報画像のユーザに関する情報など、各種情報が含まれる。

【0015】「情報公開サーバ」は、例えば閲覧された情報画像が閲覧可能なサイトであり、ネットワークを介して当該サイトにアクセスしてきた端末に当該情報画像その他の情報の提供を行うように作用するものである。

【0016】「クライアント」は、いわゆる情報端末装置、情報表示装置、あるいは単に端末などと称されるものであり、例えばパーソナルコンピュータや携帯情報端末や情報端末機器を有する家庭などを含み、少なくとも情報画像処理手段を組み込んで情報画像を表示し操作することができる機能を有するものである。

【0017】「期限情報」は、情報画像に期限を持たせるように機能するものであり、その期限超過後に、情報画像にある動作をさせたり、あるいは動作をさせなかたりすることができる。もちろん単に期限に関する記述として記載してもかまわない。なお、期限情報は、情報画像の開通情報と一緒に組み込むように構成しても構わない。あるいは画像情報や閲覧情報は別の構成として組み込んで、開通付けても構わない。また期限情報は、後述するように情報画像生成装置において情報画像を生成する際に情報画像に組み込むように構成してもよい。

【0018】「管理サーバ」は、ネットワークを介して端末に接続されたコンピュータなどのサーバ装置であり、クライアントから送信された情報画像の操作に関する情報を管理する機能を備えている。この管理サーバは情報公開サーバと同一のものとして構成しても良いし、別のものとして構成しても良い。

【0019】さらに上記課題を解決するために、本発明の第3の観点によれば、情報画像が上記のような期限情報を有している場合に、クライアントにおいて期限情報を指示される処理をすることが可能な情報画像処理装置が提供される。

【0020】ここで、上記第1の観点にかかる発明において説明した構成に加えて、「情報画像処理手段」は、例えば、ユーザが端末に組み込むことにより、情報画像を端末において表示および操作可能にする機能を有する情報画像支援プログラムであり、ニップルページ上に情報画像専用ウインドウを表示して情報画像を表示および操作するように構成してもよいし、あるいはウェッピング閲覧ソフトのプラグインソフトとしてウェッピングソフトウインドウ上で情報画像を表示および操作するように構成してもよい。さらには、バックグラウンドで動作してデスクトップ画面上で情報画像を表示および操作するように構成してもよい。

【0021】さらに、上記課題を解決するために、本発明の第3の観点によれば、上記のような期限情報を含む情報画像を生成するための情報画像生成装置が提供される。

【0022】ここで、上記においてすでに説明した構成に加えて「情報画像生成装置」は、コンピュータなどの情報処理装置において、画像情報と、操作者をして該情報画像情報に基づいて所定の動作を引き起こす開通情報を組合してひとつつの取扱い単位としてまとめる機能を有するものである。本発明にかかる情報画像生成装置は、期限情報を開通情報を一括的に組み入れるように構成してもよいし、あるいは開通情報を別体の情報として組み入れるよう構成してもよい。

【0023】さらに上記課題を解決するために本発明の第4の観点によれば、クライアントからの要求に応じて情報画像をクライアントに提供する際に、情報画像に対して期限情報を付加する機能を有する情報画像提供装置が提供される。

【0024】ここで、上記においてすでに説明した構成に加えて「情報画像提供装置」は、コンピュータなどの情報処理装置において、例えばクライアントからの要求に応じて、クライアントに刻して情報画像を提供することが可能な機能を有するものであり、上記の情報画像公開サーバなどの一括的に構成することも可能である。本発明にかかる情報画像提供装置は、情報画像のクライアントへの提供時に、期限情報を開通情報を一括的に組み入れるように構成してもよいし、あるいは開通情報を別体の情報として組み入れるよう構成してもよい。

【0025】さらに、本発明の第5の観点によれば、第2の観点にかかる情報画像処理装置をクライアントにおいて実現したり、あるいは第3の観点にかかる情報画像生成装置をコンピュータにおいて実現したり、さらには第4の観点にかかる情報画像提供装置をコンピュータにおいて実現したりするためのプログラムを保持するプログラム記録媒体が提供される。

【0026】本発明の他の構成および特徴については、以下に説明する実施の形態の構成および添付図面において明らかにされる。

【0027】

【発明の実施の形態】以下に、添付図面を参照しながら、本発明にかかる情報画像利用システム等の好適な実施形態について詳細に説明する。なお、以下の説明および添付図面において、略記の機能構成を有する構成要素については、同一の符号を付することにより重複説明を省略することにする。

【0028】(情報画像利用システムのシステム構成)まず、図1を参照しながら本実施の形態にかかる情報画像利用システムのシステム構成について説明する。図示のように、本情報画像利用システム100は、情報提供者としての情報画像生成サーバ1-2と、情報画像公開

サーバとしての情報画像提供サーバ114と、情報画像管理サーバ116と、本実施の形態にかかる情報画像処理装置を組み込んで第1管理領域122と第2管理領域124とを表示可能なクライアント120(120-1, 120-2, …122-n)とを双方間通信可能なインターネットなどのネットワーク130により接続した構成を採用している。

【0029】ネットワーク130を介してやり取りされる情報は、主に情報画像であり、情報画像を介して説明される各種情報であり、情報画像をクライアント側に利用可能にする情報画像処理装置であり、さらに情報画像に付帯される湖畔情報などびクリアントにおける情報画像の操作情報をなどであるが、これらの詳細については後述する。

【0030】情報画像生成サーバ112は、コンピュータなどの情報処理装置であって、後述するように、画像情報を、操作者をして該画像情報を基づいて所定の動作を引き起こす間連情報をとを組成してひとつの取り扱い単位としてまとめる機能を有するものである。なお、別段情報については、ある実施形態によれば、この情報画像生成サーバ112において情報画像を作成する際に、情報画像発送者によって情報画像に組み込まれる。

【0031】情報画像提供サーバ113も、コンピュータなどの情報処理装置であって、例えば登録された情報画像が閲覧可能なよう構成された情報画像公開サーバとして構成される。ネットワーク130を介してこの情報画像提供サーバ113にアクセスしてきたクライアント120に対して情報画像その他の情報を提供するよう作用する。またある実施形態によれば、クライアント120が情報画像を表示及び操作するために必要な情報画像処理装置としての情報画像支援プログラムを所有していない場合には、情報画像提供サーバ113は情報画像処理装置の提供サーバとしても機能する。さらにある実施形態によれば、この情報画像提供サーバ113からクライアント120に対して情報画像が発信される際に、湖畔情報を情報画像に組み入れるよう構成することも可能である。

【0032】情報画像管理サーバ116は、ネットワークを介して端末に接続されたコンピュータなどのサーバ装置であり、情報画像処理装置のユーザーに関する情報や、各クライアントにおける情報画像の操作情報を管理する機能を有している。さらに、ある実施の形態においては、クライアントからの要求に応じて情報画像処理装置を提供したり、情報画像処理装置提供の対象としてクライアントから送信されたユーザーに関する情報を管理する機能を備えている。さらに、ある実施形態においては、ユーザ情報や情報画像の操作情報を管理して、所定の課金処理を行う機能を有している。

【0033】なお、図示の例では、情報画像生成サーバ112、画像情報提供サーバ114、情報画像管理サー

50 パ116は、それぞれ別体のハードウェアとして構成されているが、システムの構成によっては、任意の組合わせで共通のハードウェアとして構成することも可能である。

【0034】クライアント120(120-1～120-n)は、いわゆる情報端末装置であり、少なくとも情報画像処理手段を組み込んで情報画像を表示し操作することができる機能を有するものである。より具体的には、クライアントには、例えばパーソナルコンピュータや携帯情報端末や情報端末機種を有する家庭などが含まれる。

【0035】ネットワーク130は、インターネットに代表されるように、所定のプロトコルに応じてフォーマットされた情報データを双方間に流逝させることができるように構成されている。なお本実施の形態においては、ネットワーク130は公衆に対してオーブンに構成されたインターネットであるが、システムの構成によっては、LAN、あるいはWANなどのクローズ環境の構成することも可能である。

【0036】(2. 情報画像の構成) 次に、図1に示す情報画像利用システムにおいて中心的な役割を演ずる情報画像の構成について詳細に説明する。

【0037】本実施の形態において取り扱う「情報画像」とは、画像情報を操作者をして該画像情報を基づいて所定の動作を引き起こす間連情報をひとつの取り扱い単位としたもので、ネットワーク上での伝送等の作業が單一の取り扱い処理で実現できるようになっているものである。

【0038】このように、情報画像は、(1) 画像情報と間連情報とから構成されること、(2) 画像情報と間連情報とがひとつの取り扱い単位として処理可能であることを大きな特徴としている。

【0039】(2.1. 画像情報) 「画像情報」は、例えば、ファイル名や内部に埋め込んだ識別情報などの画像情報に基づいて検索可能なものであって、クライアントである情報表示装置に画像として表示されるよう作用するものであり、より具体的にはGIF形式、JPEG形式、PCX形式などの各種形式を採用した画像に関するデータストリームである。

【0040】(2.2. 間連情報) 「間連情報」とは、端末の操作者をして、画像情報を手掛かりにして特定の動作をさせたい場合における基礎となる情報である。すなはち間連情報は、情報画像若しくは画像情報と間連づけられた情報であって、例えば、端末の操作者に時定めのサーバにある情報を参照させたい場合には、その情報を特定する情報(URLやIPアドレスなど)がこれにあたる。また、特定のプログラムを動作させたい場合には、そのプログラム名やプログラムそのものとしても構成しない。例えば、新たな画像情報をサーバから取得するなどの指示情報をとることができる。

【 0 0 4 1 】以上のような構成をとる画像情報と関連情報とをひとつの取り扱い単位として処理できるようにするために、本実施の形態によれば、以下に説明するような手法を用いて、特定の画像情報に対して関連情報やその他の情報を埋め込むことができる。

【 0 0 4 2 】( 2 . 3 .) 情報が内包された画像情報の構成) 関連情報が内包された情報画像の構成について図2および図3を用いて説明する。なお、画像情報に内包せらる情報としては、例えば、関連情報やその画像を特定するための識別子とすることができる。

【 0 0 4 3 】図2は関連情報埋め込んだ情報画像のフォーマットを示した図である。

【 0 0 4 4 】ここで、画像情報は、GI F フォーマットの画像側例にとっている。なお、画像データのフォーマットについてはGI F 形式をとらずとも、J PG 形式やPC X 形式などを採らる構成はない。

【 0 0 4 5 】開始部2 0 1 は、本情報がGI F 形式の画像情報であることを識別するために設けられたフィールドであり、「 GI F 」なる文字列ならびにそのバージョンが割り当てられたものである。

【 0 0 4 6 】記表式画像データ2 0 3 は、所定の直素が左から右、上から下の順序で配列された画像データである。ここで、GI F の場合、可変長符号のL 2 W アルゴリズムを使って符号化されている。

【 0 0 4 7 】記表式画像データ2 0 5 は、GI F データストリーム中のグラフィック情報と本文情報を含んでいる。ここには、グラフィックや製作関係者名や内容説明に関する注記、あるいは、その他の制御情報やグラフィックのデータでない類の情報など全ての情報を含めることができるようになっている。

【 0 0 4 8 】終了部2 0 6 は、開始部2 0 1 から開始された一連のデータストリームが終了したことを示し、他のノタメータ情報などがこの後に読みかることを意味するようになっている。

【 0 0 4 9 】開始部2 0 1 と記表式画像データ2 0 3 の間2 0 2 および記表式画像データ2 0 3 と記表式画像データ2 0 5 の間2 0 4 には、上記情報以外の情報を含めることができる。例えば、画面幅、画面高さ、色解像度など、これから描画する画像に必要な表示実態の範囲を定義するパラメータを含んだ情報を割り当てることができる。

【 0 0 5 0 】関連情報2 0 7 は、上記記表式画像データ2 0 5 にそのまま、若しくは暗号化などの処理を施した後に記述され、ひとつの画像情報としてまとまることがある。これにより、結果として、データストリームとしての画像情報を、その内部に関連情報や識別子を含むことができるようになる。

【 0 0 5 1 】期限情報2 0 8 は、後述するようにこの情報画像の有効期限を規定する情報であり、期限経過後に情報画像の操作を不許可としたり、あるいは情報画像

像の操作ログの管理サーバへの転送を無効としたり、あるいは期限経過後にはじめてある所定の操作が可能になるように規定したりすることができる。

【 0 0 5 2 】これらの説明はすべてGI F フォーマットで行ったが、他のフォーマット形式の画像形式であっても、このように画像情報と分離された領域に記述され構成はない。

【 0 0 5 3 】次に別の画像情報への埋め込み形式について図3を用いて説明する。図3は関連情報を埋め込んだ画像情報の別のフォーマットを示した図である。

【 0 0 5 4 】ここでも、画像情報はGI F フォーマットの画像を例にとっている。この例においても、フォーマットについてはGI F 形式をとらずとも、J PG 形式やPC X 形式などを採らる構成はない。

【 0 0 5 5 】開始部2 0 1 は、上記と同じく、本情報がGI F 形式の画像情報であることを識別するために設けられたフィールドであり、「 GI F 」なる文字列ならびにそのバージョンが割り当てられたものである。

【 0 0 5 6 】記表式画像データ2 0 3 は、直素は、左から右、上から下の順序で記述された画像データを記述するところであるが、ここでは画像情報2 0 7 と関連情報2 0 8 と期限情報2 0 9 をウォーターマークの形式で混在させることにより、視覚上関連情報がそのまま視認できないようになるとともに、画像情報はそのまま視認できるようになるようになるように混合2 1 0 されるようになっている。ここで、このようにして混合2 1 0 された情報は、可変長符号のL 2 W アルゴリズムを使って符号化される。

【 0 0 5 7 】期限情報2 0 9 は、図2 に示す実態形態と同様に、この情報画像の有効期限を規定する情報であり、期限経過後には、情報画像の操作を不許可としたり、あるいは情報画像の操作ログの管理サーバへの報告を無効としたり、あるいは期限経過後にはじめてある所定の操作が可能になるように規定したりすることができる。

【 0 0 5 8 】記表式画像データ2 0 5 は、GI F データストリーム中のグラフィック情報とはならない文章情報を含んでいる。本例では特に必要としないフィールドであるが、必要となれば、自由な定義で情報提供者が利用することができる。

【 0 0 5 9 】終了部2 0 6 は、このデータ・ストリームが終了したことを示し、他のノタメータ情報などがこの後に読みかることを意味するようになっている。

【 0 0 6 0 】この画像側においても、すべてGI F フォー

マットで行ったが、他のフォーマット形式の画像形式であっても、このように画像情報と分離された情報に記録されれば構わない。

【0061】(3. サーバとクライアント間ににおける情報画像の利用関係) 次に本実施の形態にかかる情報画像利用システムにおいて、情報画像を利用するためのインフラストラクチャとして機能するサーバ(情報公開サーバ、管理サーバ)とクライアント(情報端末装置)の関係について、図4を用いて説明する。

【0062】サーバ401は、情報表示装置として機能するクライアント403の情報画像表示要件に応じて対応する画像情報を提供するコンピュータなどの装置である。サーバ401は、例えば登録された情報画像が閲覧可能なサイトであり、ネットワークを介して当該サイトにアクセスしてきた端末に当該情報画像その他の情報の提供を行うように対するものであり、図1に示す情報画像利用システム100における情報公開サーバ114に該当するものである。

【0063】クライアント403は、前記サーバ401にネットワークを介して接続される情報表示装置、あるいは情報端末装置、あるいは耳に装着されれるものであって、少なくとも後述する情報画像処理手段を組み込んで情報画像を表示・操作することができる機能を有するものである。より具体的には、クライアント403は、例えば、その内部に、それぞれ別の機能を有する第1管理領域404と、第2管理領域405の動作をさせることができるようにになっている。なお、クライアント403は、図4に示す情報画像利用システム100におけるクライアント120(120-1~120-n)に該当するものである。

【0064】第1管理領域404は、サーバ401から取得した画像を表示するようになっており、後述のグラフィックイメージでいえば、情報提供ウインドウ502、605、ならびに情報提供フレーム803に該当する。

【0065】第2管理領域405は、後述する情報画像処理装置を組み込むことにより表示されるもので、第1管理領域404において、特定の画像が指定されたときに、その内容を登録するとともに、この内容を表示し、端末の操作者が図示しない操作手段によって、ここに表示される画像を特定したときには、この操作に基づいて少なくとも二つの閾値情報を表示し、その情報に基づく何らかの処理を起動させ、また複数ある場合にはこれらを選択しその情報に基づく何らかの処理を起動させる操作をするようになっている。後述のグラフィックイメージでいえば、ワントップウインドウ504、605、ならびにワントップフレーム802に該当する。

【0066】サーバ402は、クライアント403にネットワークを介して接続され、第2管理領域405の制御のもと、情報画像処理装置を提供したり、クライアント

403から提供されたユーザ情報等を登録し管理したり、さらには、課金処理を行ったりするコンピュータなどの情報処理装置である。したがって、サーバ402は、図1に示す情報画像利用システム100における情報面管理サーバ116に該当する。

【0067】なお、ここでサーバ401と、サーバ402はそれぞれ別ものとして記載しているが、供給する情報の性質またはサーバの構成仕様によっては、同一のものとすることもできることは言うまでもない。

【0068】なおクライアント403における第2管理領域405、ならびに第1管理領域404についてはそれぞれプログラムによって制御がされることになる。すなわち、第2管理領域405において表示されている画像情報をに関する情報画像のうち、これに内包される閾値情報は、第2管理領域405を制御する画像情報処理装置を構成するプログラムによって辨別され、操作者を指定した閾値情報に対応すべき動作を実行できるようになっている。

【0069】後述するように、第1管理領域404と第2管理領域405との間では閾値情報等の通信を行うことになる。一般にプロセス間、スレッド間の通信について、その実現手法はさまざまなものを選択することができる。例えば、2つの領域を制御する前記部が共通のメモリ空間を用いて通信をできる。また、新たな別なプロセスを作成し、このプロセスとの間で通信することによって、第1管理領域404と第2管理領域405との間のデータ通信を行うことも可能である。

【0070】特に、OSとしてマイクロソフト社のWindowsを用いている場合であって、第1管理領域の制御にインターネットエクスプローラーを利用した場合には、COM(コンポーネントオブジェクトモデル)を利用すると簡単である。COMを使ってする通信については、特開2000-083291に詳述が記載されている。

【0071】(4. 情報画像処理装置の表示例) 次に、本実施の形態にかかるクライアント(情報端末装置)に情報画像処理装置を組み込むことにより表示されるグラフィックイメージの例について図5～図8を用いて説明する。

【0072】(4. 1. コンピュータに好適なグラフィックイメージ例) まず、情報端末装置としてWindows(登録商標)9x、Windows NT(登録商標)、Windows 2000、Linuxなど、グラフィック表示が可能なOSをサポートしたコンピュータを使用した場合には、図5に示すようなロックアンドファイルを表示することが好適なので、これを説明する。

【0073】表示画面501は、例えばブラウジング表示面やTFT液晶画面や人目に装着する眼鏡に組み込んだ表示装置における画面等であって、情報端末装置からの

13  
情報が人間が視覚的に把握できるように作用する。な

お、この画面上、表示画面501の境界部分がその表示デバイスの最外枠となっているが、表示デバイスの中に当該情報を表示して実施して構わない。

【0074】ワントップウインドウ504は、情報端末装置に組み込まれた情報処理装置の物理的下に、少なくとも画像(若しくは写真などの画像情報を、以下同じ)505、506を表示するウインドウである。ワントップウインドウ504は、本情報端末装置の操作者が図示しない操作手段によって、画像505を指定したときは、少なくともひとつ前の関連情報を表示し、その情報に基づく何らかの処理を起動させ、また複数ある場合にはこれらを選択し、その情報に基づく何らかの処理を起動させることができるようにになっている。

【0075】すなわち、表示画面501上で、このワントップウインドウ504は、画像505、506を手掛かりとして特定の動作をガイドさせるための特別の管理領域(すなわち、図4に示す第2の管理領域405に該当する。)として作用しておる、この領域内に表示されている画像を手掛けりにして、端末の操作者は新たな操作を実現できるようになっている。ここで操作手段としてマウスが備わっている場合には、マウスの右クリックをすることにより、ポップアップメニューを出現させ、ここに関連情報を表示するとともに、左クリックで複数ある関連情報のうちのひとつを特定せざるを得ない。

【0076】情報提供ウインドウ502は、少なくとも画像503等を表示するフレームであって、本情報表示装置の端末の操作者が図示しない操作手段によって、このフレーム内に表示される画像を特定したときには、この操作に基づいて新たな画像がワントップウインドウ504に追加登録されるようになっている。

【0077】なお、このときワントップウインドウ504に追加される画像は、特定され情報提供ウインドウ502内に表示されている画像をそのまま表示してもよく、また必要に応じて他の画像に換えて構わない。情報提供ウインドウ502には、画像の他、文字情報507、有効期限情報509などを表示するようにしてもよい。

【0078】すなわち、表示画面501上で、この情報提供ウインドウ502は、画像等を表示して端末の操作者に興味を持たせるとともに、端末の操作者が画像を特定する操作をすることで上記ワントップウインドウ504への登録に導く管理領域として作用している。

【0079】なお、表示操作端末の操作による特定操作について、マウスなどのボイントティングデバイスが操作手段に備わっているときには、ボイントを登録したい画像を指定し、これをワントップフレーム502上に移動させてここに落とすという、図中矢印508で模式的に示すような、所謂ドラッグアンドドロップというユー

50  
14  
ザインインターフェース技術を使って構わない。

【0080】このユーザインターフェースを用うと、例えば情報提供ウインドウ502として、インターネットエクスプローラやネットスケープナビゲーターなどのブラウザソフトを用った場合には有利である。

【0081】(4.2.コンピュータに好適な別のグラフィックイメージ例)また、別のインターフェース例として図6および図7に示すようなウインドウを用いることができる。

【0082】表示画面601は、例えばブラウジング表示面、TFT液晶画面、人体に装着する眼鏡に組み込んだ表示装置における画面等、表示装置からの情報を人間に視覚的に把握できるように作用する。

【0083】情報表示面のウインドウ602は、操作者に、情報提供者から得られる画像の表示並びに登録の操作を行わせるインターフェースとして機能するようになつてている。

【0084】情報表示面603は、情報表示登録ウインドウ602の領域内に設けられた管理領域を選択するインターフェース要素であって、これがアクティブになつたときは情報提供者から送付された画像609を第1管理領域605に表示できるようになっている。そして、本情報端末装置の操作者が図示しない操作手段によって、ここに表示される画像609を特定したときは、この操作に基づいて新たな画像608が、ワントップウインドウ604がアクティブになつたときに表示される第2管理領域606に追加されるようになっている。なお、第1管理領域605には、画像609の他、文字情報610、有効期限情報611などを表示するようにしてもよい。

【0085】ワントップウインドウ604は、情報表示登録ウインドウ602の領域内に設けられた管理領域を選択するインターフェース要素であって、これをアクティブにしたときに第2管理領域606を表示させ、第1管理領域605で登録が指示された画像609について、これに係る新たな画像608をその第2管理領域内606に表示できるようになっている。そして、本情報端末装置の操作者が図示しない操作手段によって、ここに表示される画像を特定したときは、この操作に基づいて少なくともひとつ前の関連情報を表示し、その情報に基づく何らかの処理を起動させ、また複数ある場合にはこれらを選択し、その情報に基づく何らかの処理を起動させることができようになっている。

【0086】すなわち、情報表示登録ウインドウ602上で、この第2管理領域606は、画像607、608を手掛けりとして特定の動作をガイドさせるための管理領域として作用しておる、この領域内に表示されている画像を手掛けりにして、端末の操作者は新たな操作を実現できるようになっている。また第2管理領域606には、画像607、608にそれぞれ係る非限情報61

2, 613 を表示することが可能である。

【0087】このユーザインターフェースを使うと、表示画面601の面積が小さかつた、画面の解像度が低い場合に、情報表示登録操作を少ないと表示領域で完結させることができ、有利である。

【0088】(4.3. デジタルテレビやPDAに好適な別のグラフィックイメージ例) 次に、本発明をデジタルテレビやPDA(Personal Data Assistance)などの携帯端末に刻して実施する場合には、図8に示すようなルックアンドフィールを探ることが好適なので、これを説明する。

【0089】表示画面801は、例えばブラウン管表示面、TFT液晶画面、人体に装着する頭部に組み込んだ表示装置における画面等、表示装置から情報は人間が視覚的に把握できるよう に作用する。なお、この画面上、表示画面801の境界部分が他の表示デバイスの最外枠となっているが、表示デバイスの中には操作を表示して実施しても構わない。

【0090】図8は、上記ワントップチャーフレーム802は、上記ワントップチャーフレーム802と同じく機能するものであり、少なくとも画像(給文字)表示は写真などの画像情報、以下同じ)808を表示するフレームであって、本情報表示装置の端末の操作者が図示しない操作手段によって、画像808を指定したときには、少なくともひとつ以上の要件情報を表示し、その情報に基づく何らかの処理を起動させ、また複数ある場合にはこれらを選択し、その情報に基づく何らかの処理を起動させることができるようになっている。なお、ワントップチャーフレーム802には、画像808に係る有効期限809もあわせて表示せることができる。

【0091】すなはち、表示画面801上で、このワントップチャーフレーム802は、画像808を手掛けりとして特定の動作をガイドさせるための特別の管理領域として作用しており、この領域内に表示されている画像を手掛けりにして、端末の操作者は新たな操作を実現できるようになっている。

【0092】情報提供フレーム803は、上記情報提供ワントップと同じく機能するものであり、少なくとも画像805, 806等を表示するフレームであって、本情報表示装置の端末の操作者が図示しない操作手段によって、このフレーム内に表示された画像を特定したときには、この操作に基づいて新たな画像がワントップチャーフレーム802に追加されるようになっている。

【0093】なお、このとき追加される画像は、特定され情報提供フレーム803内に表示されていた画像をそのまま表示してもよく、また必要に応じて他の画像に換えて構わない。情報提供フレーム803には、画像805, 806の他、文字情報807、画像805, 806にそれぞれ対応する有効期限810, 811などを表示するようにしてもよい。

【0094】すなはち、表示画面801上で、この情報提供フレーム803は、画像等を表示して端末の操作者に要件を持たせるとともに、端末の操作者が画像を特定する操作をすることで上記ワントップチャーフレーム802への登録に導くという特別の管理領域として作用している。

【0095】なお、表示操作端末の操作者による特定操作並びに第2管理領域802への登録について、マウスなどのポインティングデバイスが操作手段に備わっているときには、ポインタを登録したい画像を指定し、これをワントップチャーフレーム802上に移動させて落すという、所謂ドラッグアンドドロップというユーザインターフェース技術を使っても構わない。

【0096】なお、表示操作端末の操作者による特定操作並びに第2管理領域802への登録について、マウスなどのポインティングデバイスが操作手段に備わっていないときには、ポインタを登録したい画像を指定し、これをワントップチャーフレーム802上に移動させて落すという、所謂ドラッグアンドドロップというユーザインターフェース技術を使っても構わない。

【0097】(5. クライアント表示面804) すなはち、

20 デジタル放送における実装など、ミンチングを表示するフレームであり、端末の操作者が得たい情報を表示するためを利用する構成である。なお、このコンテンツは論述などに限らず、静止画、文字放送の情報など、人間の視覚を測微して伝達する一切の情報を含むものである。

【0098】(5. クライアントの構成および動作) 次に図9を参照しながら本実施の形態にかかるクライアントの構成および動作について説明する。画像表示面901は、たとえばマイクロソフト社製インターネットエクスプローラーであって、操作者により特定サーバーの情報のダウンロード指示があったときには、その指示に基づいてサーバ910にネットワークを介して論理接続し、その情報を取得し、第1管理領域に表示するようになっている。

【0099】また、第2管理領域は、たとえば、記録情報取得部904、情報画像記録部905、閲述情報取得部906、画像表示面907、画像待定期908、期限情報取得部909、動作決定部910などを構成して実施することができる。

【0100】通信COM902は、OSの機能であるコンポーネントオブジェクトモデル(Component Object Model)を利用してのプロセス(もしくはスレッド、以下同じ)間の通信実現手段であって、たとえばドラッグアンドドロップなどのユーザインターフェース操作があった場合に、ドラッグされたプロセスからドロップされたプロセスへの情報の伝送を実現するようになっている。

【0101】記録情報取得部904は、ネットワークに接続され、サーバ910から情報画像を受け取り、次段の情報画像記録部905に伝達するようになっている。

【0102】情報画像記録部905は、通信COM902もしくは記録情報取得部904から通知されてきたものであって、画像情報と閲述情報がひとつつの取り扱い単位としてまとめられている情報画像を記録するようになっている。なおここで、情報画像として記録するのではなく、画像情報と閲述情報をそれぞれ関連を持たせたま

最初のメモリに記録されるなどしてない。情報画像記録部905はまた、第1管理領域から第2管理領域へのドラッグアンドドロップ操作などにより情報画像の登録操作があったときには、関連情報取得部906を介して、特定のサーバに情報画像が第2管理領域へ登録された旨の通知をするようになっている。

【0102】関連情報取得部905は、情報画像記録部905に接続され、情報画像記録部905に記録された情報画像から、関連情報の部分のみを取得するようになっている。また期限情報取得部909も、情報画像記録部905に接続され、情報画像記録部905に記録された情報画像から、期限情報の部分のみを取得するようになっている。

【0103】画像表示部907は、情報画像記録部905に接続され、第2管理領域からの表示として、情報画像記録部905に記録されている情報画像をすべてもしくは選択して表示するようになっている。即ち、前記ワンドラッグ・フレーム(ワンドラッグ・ウインドウ)を通して操作者が情報画像に係る画像を知覚できるようになる。

【0104】画像表示部908は、OSインターフェース903の機能により、第2管理領域において表示されている画像を操作者が特定した場合、その画像に対応する情報画像が表示されるようになっている。

【0105】動作決定部910は、画像表示部908と関連情報取得部906と期限情報取得部909に接続され、操作者による特定を受けた情報画像の中の関連情報に基づいて動作を実行するようになっている。例えば、期限情報取得部909において取得された期限情報により、当該情報画像が期限切れであると判断された場合には、後述のように、期限情報を書き込まれた所定の動作を行う。

【0106】次に、上記のように構成されたクライアントの動作について説明する。まず、クライアントの操作者は、所定の情報サーバ(情報画像提供サーバ)911から所望の情報画像を取得し画像表示部901に表示させることになる。この時、画像表示部901にインターネット・ニクス・プローラーを使っている場合には、http://プロトコル名によってオーバーシン・サイトのWEBページを表示するという動作を行うことになる。

【0107】そして、クライアントの操作者が、表示された画像を見ることにより、情報の取得を希望した情報画像を特定すると、この情報画像をドラッグアンドドロップなどのインターフェース操作によって第2管理領域に移す操作を行う。この時、ドラッグアンドドロップされる画像は情報画像であるので、通常COM902を通して情報画像記録部905に記録されることになる。この時併せて、関連情報取得部905および期限情報取得部909の作用により、動作決定部910を通じて、情報画像公開サーバ911およびまたは管理サーバ912

にその情報画像を第2管理領域に登録した旨を通知することになる。

【0108】ここで、期限情報取得部909が、クライアントの操作者が指定した情報画像の有效期限が切れていると判断した場合には、その旨を動作決定部910に通知する。ある実施の形態によれば、有效期限が切れている場合には、動作決定部910は、情報画像公開サーバ911およびまたは管理サーバ912に対して、情報画像の操作ログを通知しない。またある実施の形態によれば、有効期限が切れている場合には、動作決定部910は、情報画像自体の操作を禁止する。上記例は、期限情報に有効期限の終期が記述されている場合であるが、これとは逆に、期限情報に有効期限の始期を記述するように構成することも可能である。かかる場合には、例えば期限情報取得部909により判断された有効期限以後に、はじめて情報画像の特定の操作を許可するよう構成することももちろん可能である。

【0109】一方、第2管理領域に係る情報画像記録部905において記録された情報画像は、画像表示部907の作用によって、OSインターフェース903を介してクライアントの操作者にその表示がされることになる。そして、入札クライアントの操作者は、その表示された情報画像に記録された関連情報に基づいて、操作を行うと、画像表示部908ならびに動作決定部909の作用によって、その関連情報に関する動作を行うことになる。

【0110】(6. 情報画像生成サーバによる期限情報の記述例)次に、図10を参照しながら、情報画像生成サーバにおける期限情報の記述例を示す。グラフィカルインターフェースに手を加えて、ウインドウズなどの画面1000上で容易に情報画像の作成を可能にした例である。情報画像は、基本的に画像情報と関連情報とを合成してなるものなので、情報画像製作者は、画像ファイル指定フレーム1010において、画像情報を指定するとともに、関連情報記述フレーム1020において、関連情報を記述する。

【0111】関連情報記述フレーム1020においては、クライアントにおいて操作者が情報画像を操作した場合に順次行われる動作が記述される。図示の例は、あるゲームソフトの広告画面であるが、まずホームページがブラウザ表示され(1022)，次いでストーリーがテロップ表示され(1024)，さらにテーマ曲が再生され(1026)，さらにテーマ曲が再生され(1028)のように、関連情報の記述が行われる。

【0112】さらに、本実施の形態によれば、期限情報記述フレーム1030において、期限情報に関する記述を行うことが可能である。図示の例では、期限は2段階的に設定してあり、まず第1の期限においては、情報画像の操作ログを管理サーバに通知しないように設定され(1032)，第2の期限においては、情報画像自体の

操作が禁止される(103)。ここで記述される期限情報は、各種に設定することができる、図示の例では、有効期限の終期に関する記述を行ったが、逆に有効期限の始期に関する記述をここで行つてもよいことはいふまでもない。

【0113】さらに、期限がきたものについて、テロップを表示したい場合には、テロップ表示フレーム1035において、クライアントの画面上に表示させたいテロップ文書を記述することが可能である。

【0114】以上説明した各フレームにおいて、情報画像供給者が意図した情報画像の作成が完了した場合には登録ボタン1040を押すことにより、画像情報と関連情報と期限情報が合成されて、情報画像が生成される。生成された情報画像は必要に応じて表示される情報画像公開サーバの所定箇所に登録される。これに対して、修正等を行いたい場合には、リセットボタン1042を押すことにより、画面1000において記述された内容がリセットされる。

【0115】なお、図10に示した例では、情報画像に対する期限情報の付加が、情報画像生成サーバにおいて行われているが、本発明はかかる例に限られない。例えば、情報画像公開サーバ(情報画像供給サーバ)において、クライアントに対して情報画像を発送する際に、期限情報を付加する構成であっても構わないことはいふまでもない。

【0116】(7. 期限情報の動作例) 次に図10および図12を参照しながら、クライアントにおける期限情報の動作例について説明する。

【0117】まず図1に示す例は、期限情報に基づいてクライアントからの管理サーバへの操作ログの通知を発行して、管理サーバに対するリファックを継続する構成である。まず、クライアントの情報画像処理装置は、クライアントにおいて情報画像の操作があったかどうかを判定する(S1101)。情報画像の操作があった場合には、期限情報が確認される(S1102)。期限情報を確認した結果、操作された情報画像が有効期限内のものであれば、関連情報に記述されている所定の動作を行(S1103)、操作ログが管理サーバに通告される(S1104)。これに対して、操作された情報画像が有効期限を過ぎたものである場合には、操作者の注意を喚起するためのテロップをクライアントの画面上に表示し(S1105)、その後に関連情報に記述されている所定の動作を行う(S1106)。ただし、操作された情報画像は有効期限を過ぎたものなので、操作ログは管理サーバに通告されない(S1107)。

【0118】次に図12に示す例は、期限情報に基づいてクライアントからの管理サーバへの操作ログの通知を発行するのみならず、クライアントにおける情報画像の操作自体を禁止する構成である。まず、クライアントの情報画像処理装置は、クライアントにおいて情報画像の

操作があったかどうかを判定する(S1201)。情報画像の操作があった場合には、期限情報が確認される(S1202)。期限情報を確認した結果、操作された情報画像が有効期限内のものであれば、関連情報に記述されている所定の動作を行(S1203)、操作ログが管理サーバに通告される(S1204)。これに対して、操作された情報画像が有効期限を過ぎたものである場合には、操作者の注意を喚起するためのテロップをクライアントの画面上に表示し(S1205)、さらに関連情報に記述されている所定の動作を禁止する(S1206)。そして、操作された情報画像は有効期限を過ぎたものなので、操作ログは管理サーバに通告されない(S1207)。

【0119】(8. 期限情報を用いた課金システム例) 以上のように本実施の形態にかかる期限情報を用いること課金システムを最適化することができる。例えば、情報画像を情報画像公開サーバに登録してユーザーを所属の情報に誘導しようと考えている情報提供者に対して課金を行いう場合を例に挙げてみる。課金システムをクライアントの情報画像に対するクリック数に応じた従量制に設定した場合には、情報画像が古くなり、マーケッティングに対して有効に作用しない場合にも、情報提供者に対して課金が行われてしまふ。しかし、本実施の形態にかかる期限情報を用いれば、有効期限を過ぎて古くなってしまった情報画像に基づいた課金を免除することが可能となるので、情報提供者はストレスなしに課金を受け入れることができる。

【0120】また、期限情報を利用すれば、所定の期間に限った情報画像の扱いに対して課金を行うシステムを構築することが可能であり、例えば、百貨店などのお中元やお歳暮などの期間限定商品を情報画像で展開する場合などに特に有効な課金システムを構築することができる。

【0121】この他にも、ビジネスモデルに応じて各種の課金処理を規定することが可能であるが、期限情報を用いて課金処理を行構成を採用する以上、いわゆるビジネスモデルを採用するにせよ、本発明の技術的範囲に属するものと了解される。

【0122】(9. プログラムの旅) 以上の実施形態において実現されるサーバやクライアント(情報端末装置等を含む)の機能は、すべてソフトウェアによって実現することができる。このため、必要なソフトウェアは、プログラムを記録したCD-ROM、DVD-R、DVD-ROMなどの記録媒体によって、流通させることができる。

【0123】以上、添付図面を参照しながら本実施の形態にかかる情報画像利用システム等の好適な実施形態について説明したが、本発明はかかる例に限定されない。当業者であれば、特許請求の範囲に記載された技術的思想の範囲内において各項の変更または修正例に想到し

得ることには明らかであり、それらについても当然に本発明の技術が範囲に属するものと了解される。

## 【0124】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、規則情報に基づいてクライアント側の情報画像の操作を制御することができる、情報画像に付随する情報が古くなったりした場合などに、古い情報画像に基いてクライアントが情報提供者の意図に反した情報に誘導されようなど問題を解消できる。

【0125】また、例えば、期間限定の情報画像を利用するシステムのような場合など、有効期限が切れた情報画像の削除ログが管理サーバーに大量に通知されて、管理サーバーにおけるトラフィックが没収するような事態を回避することが可能である。

## 【画面の簡単な説明】

【図1】 本願発明の実施の一形態にかかる情報画像利用システムの概略的なシステム構成図である。

【図2】 本願発明の実施の一形態にかかる情報画像の構成を示す構成図である。

【図3】 本願発明の実施の一形態にかかる情報画像の構成を示す別の構成図である。

【図4】 本願発明の実施の一形態にかかるクライアントにおいて実現される管理領域の概略的な説明図である。

【図5】 本願発明の実施の一形態にかかるクライアントにおいて実現される第1管理領域から第2管理領域への情報画像の登録を行うためのトランジットアンドドロップ操作の一例を示す説明図である。

【図6】 本願発明の実施の一形態にかかるクライアントにおいて実現される第1管理領域から第2管理領域への情報画像の登録を行うための他の例を示す説明図である。

【図7】 本願発明の実施の一形態にかかるクライアントにおいて実現される第1管理領域から第2管理領域への情報画像の登録を行うためのさらに他の例を示す説明図である。

【図8】 本願発明の実施の一形態にかかるクライアントにおいて実現される第1管理領域から第2管理領域への情報画像の登録を行うためのさらに他の例を示す説明図である。

【図9】 本願発明の実施の一形態にかかるクライアントの構造を示すシステム構成図である。

【図10】 本願発明の実施の一形態にかかる情報画像生成装置の入力面図の一例を示す説明図である。

【図11】 本願発明の実施の一形態にかかるクライアントの動作に関するフローチャートである。

【図12】 本願発明の実施の一形態にかかるクライアントの動作に関するフローチャートである。

## 【符号の説明】

100 情報画像利用システム

112 情報画像生成サーバ

114 情報画像提供サーバ

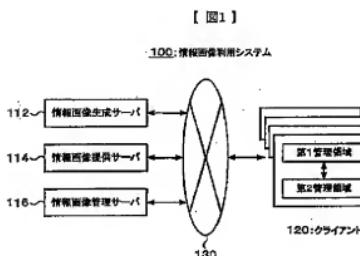
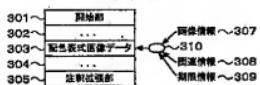
116 情報画像管理サーバ

120 クライアント

180

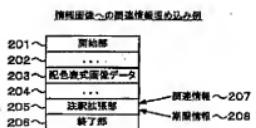
【図3】

## 情報画像への属性情報の書き込み

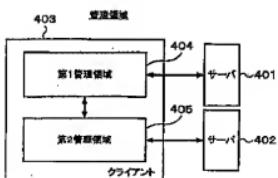


120: クライアント

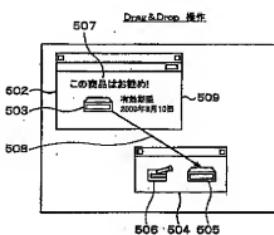
【 図2 】



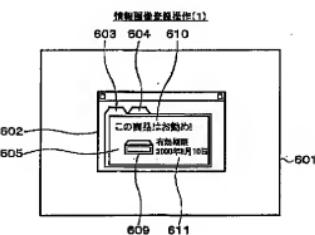
【 図4 】



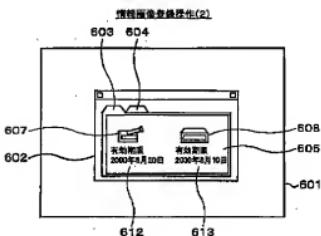
【 図5 】



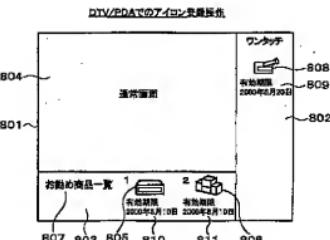
【 図5 】



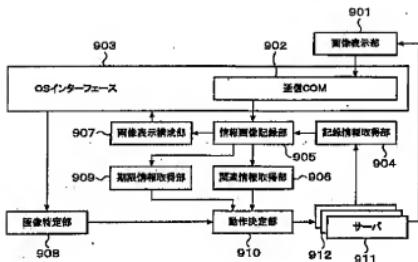
【 図7 】



【 図8 】



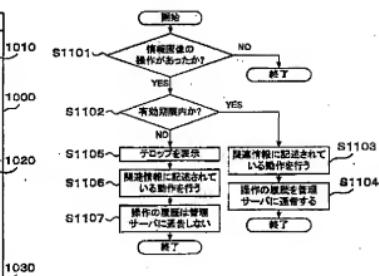
[ 図9 ]



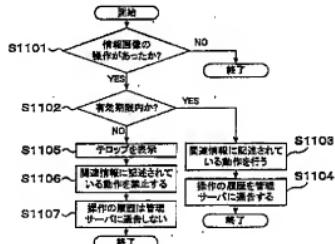
[ 図10 ]

1040 1042

[ 図11 ]



[ 図12 ]



## フロントページの読み

Fターム (参考) SB050 CA01 FA02 FA13 FA19 GA08  
SB075 KK07 KK13 KG33 ND03 ND06  
PQ02 PQ29 PQ32 PQ46 QP05  
UX40  
SB082 EA10 GC05  
SC064 EA01 BC06 BC18 BC23 BC09  
HC014